

市区町村における 2 R（リデュース・リユース）の取組状況調査

| | |
|-----------------------------|-------|
| 貴自治体名 | 貴部署名 |
| 所在地 | |
| 御担当者名 | 電話 |
| 貴自治体の人口(平成 25 年 10 月 1 日現在) | FAX |
| | Email |

2 R（リデュース、リユース）とは：

リデュースとは、廃棄物となるものを発生させない又は発生量を削減することをいい、たとえばマイバッグの持参によるレジ袋の削減などが含まれます。

リユースは、一度使用された製品及び未使用製品、部品、容器等を、形状を維持したまま再び使用することをいい、たとえば現使用者が不要となった家具などを再使用する取組などが含まれます。

1 貴自治体の施策として実施している（又は実施していた）ものを、次の A～Eの中からすべて選び、 を付けてください。

- A リユース品の回収・住民による持ち込み（ p 2 ）**
（収集した粗大ごみからのピックアップリユース、リユースを前提とした収集、又はリユース品の住民の持ち込みなどによりリユース）
- B 古布・古着の分別収集（ p 5 ）**
（古布・古着を分別収集（拠点回収、集団回収含む）の実施）
- C びんの分別収集又は学校給食での活用（ p 6 ）**
（びんを破碎しないように自治体が収集し、リユース可能なびんをリユース）
- D 役所等でのリデュース・リユースの取組（ p 7 ）**
（事業者・市民が行うリデュース・リユース活動を後押しする施策・取組ではなく、役所等（役所や役場及びその出先機関）が自ら行う取組。例えば役所等でリユース容器の飲料やリユース製品を使用することなど。）
- E その他のリデュース・リユースの取組（ p 8 ）**
（上記以外の自治体又は住民等によるリデュース・リユースの取組。製品のリデュース・リユース、リデュース・リユース情報の提供、フリーマーケットの開催等。）



2 前問の A～D のいずれかに を付けた場合、各記号の問いにお進みください。（該当する問の回答が終わりましたら、8 ページの 3 .へお進みください。）
E にのみ を付けた場合、直接 8 ページの 3 .へお進みください。

A（リユース品の回収・住民による持ち込み）を選んだ方にお尋ねします。

（１）取組の概要について、当てはまるものに を付けてください。

| 質問項目 | 回 答 | | |
|---------------------|---|---|--|
| 事業内容 | 粗大ごみからピックアップして、リユース (この項目に該当する方は下記にもご回答ください) | リユース目的であることを明確にした上で、リユース品だけを、住民からの連絡を受けて回収 (下記へ) | リユース品の住民による持ち込み (下記へ) |
| 実施開始年 | ～1年前 2～5年前 6～10年前 10年以前 | ～1年前 2～5年前 6～10年前 10年以前 | ～1年前 2～5年前 6～10年前 10年以前 |
| リユース品の住民からの回収方法 | | 直営 委託 委託先(該当するものに): ・収集業者 ・シバ-人材センター ・公社 ・NPO ・他() | |
| リユース品とするための基準/受取の基準 | ある ない | ある ない | ある ない |
| 回収料金/受取時の料金 | 無料 有料 (引取費用を受領) | 無料 有料 (引取費用を受領) 条件付き有料(引き取る品目の価値に応じて対価を支払う) | 無料 有料 (引取費用を受領) 条件付き有料(引き取る品目の価値に応じて対価を支払う) |

p 2のいずれかに「 」をした場合は、続けて以下の問にもお答えください。

| 質問項目 | | 回 答 | |
|----------------------|---------|------------------------------|-------------------------------------|
| 販売方法 | | リサイクルプラザ等の販売拠点 (下記へ) | その他イベントや広報誌・HP (具体的に) (下記へ) |
| 定量的効果 | 販売(譲渡)数 | 約 点/年 | 約 点/年 |
| | 販売額 | 約 円/年 | 約 円/年 |
| その他定量的・定性的な取組の効果・好影響 | | 例：粗大ごみが(kg)減少し、ごみ減量につながった等 | |

(2) 下記に該当する項目があれば をつけてください。(複数回答可)

粗大ごみを収集する際に、出す人からリユースの可否についての意思を確認している。

リユース可能なものを出す方に何らかのインセンティブの付与(例、ポイントの付与、ごみ袋の提供)を行っている。

住民の連絡により、リユース品を専用車で収集している。

製品についていた付属品があれば、付属品も合わせて出してもらう。

取扱説明書や保証書があれば、それらも合わせて出してもらう。

地域センターや図書館など、自治体の施設でリユース品を集めている。

イベントを開催して、住民からのリユース品を集めている。

リユースできないものが集まらないよう、住民に基準等を公表している。

回収物品をリユース品として販売・譲渡するための基準等を設けている。

回収物品がリユースできるかを判断できる職員がいる(非常勤、嘱託、委託先等を含む。)

地域のNPOや市民団体・リユース事業者等と連携して、リユース品の修理・清掃を行っている。

リユース事業者と連携して、リユース品の選別や販売・譲渡を行っている。

リユース品を販売する際に、オークションや入札などできるだけ高価で売れる工夫をしている。

福祉施設や海外途上国へのリユース品の寄付など、社会貢献に資する方法でリユースを行っている。

リユース品を住民等が購入又は無償で入手しやすくするための仕組みを設けている。
(具体的に)

(3)「リユース品の回収及び住民による持ち込み」を今後拡大・改善・変更する予定はありますか。

予定はある

予定はない

未定

(4)リユースの取組を推進する際の課題、今後の改善策について、当てはまるものをつけてください。(複数回答可)

住民に対するリユースの取組認知度が低い・利用状況が低い

リユース品の保管スペースの不足

リユース品の需給バランスの調整が難しい

民間リユース事業者の取組との住み分け

事業採算性の向上・費用対効果の改善

ノウハウ・人員不足

リユース推進に関する住民の合意

販売・譲渡する製品に対する品質の担保

改善の余地はあるが何が課題か分からない

その他(

)

(5)これまでの質問について、実際の取組状況を考えると答えにくいと思われるものがありましたら、どの質問がなぜ答えにくいのか、お知らせください。

(6)リユース品の回収・住民による持ち込みを始めた理由や現在抱えている課題など、自由に記入をお願いします。

B（古布・古着の分別収集）を選んだ方にお尋ねします。

（１）取組の概要についてお答えください。

| 質問項目 | | 回 答 | | | |
|----------------|---------------|---|-----------------------|--------|-------|
| 収集方法 | | 分別収集 集団回収 | 公共施設等での拠点回収 その他（ ） | | |
| 実施開始年 | | ～1年前 | 2～5年前 | 6～10年前 | 10年以前 |
| 古着の選別方法 | | 自治体の施設で選別 不明 | 委託している回収業者が選別 | | |
| 古着の販売（譲渡） 先 | | 住民へ販売（譲渡） 回収業者に販売（譲渡） リユース業者に販売（譲渡） | | | |
| 定量的効果 | 古布・古着 の収集量 | 約 t / 年 (古着の割合 %) | | | |
| | 古着の 販売額 | 約 円 / 年 | | | |
| その他定量的・定性的な効果 | | 例：個人レベルでの古着の交換等の機運が高まった等 | | | |

（２）下記に該当する項目があれば をつけてください。（複数回答可）

古着だけを（又は古布と古着を分けて）集めている。

地域のNPO・市民団体等と連携して古着を収集している。

リユース事業者・古繊維業者等と連携して古着を販売している。

リユース品を譲渡する際に、オークションや入札などできるだけ高価で古着を売れるような工夫をしている。

福祉施設や海外途上国への古着の寄付など、社会貢献に資する方法でリユースを行っている。

収集量の拡大、リユース品の価値の向上、売却益増加のための工夫をしている。

（具体的に ）

（３）古着のリユースを始めた理由や現在かかえている課題など、自由に記入をお願いします。

C (びんの分別収集又は学校給食での活用) を選んだ方にお尋ねします。

(1) 取組の概要について、当てはまるものに を付けてください。

| 質問項目 | 回 答 |
|--------------|--|
| リユースびんの収集方法 | 住民にはコンテナに出してもらい、コンテナのまま車両に積載 住民にはコンテナに出してもらい、車両のコンテナ等に移替え袋で出してもらい、平ボディ車で収集 袋で出してもらい、パッカー車で収集 リユースびん専用の拠点で回収 |
| 学校給食での牛乳での利用 | リユースびんを優先して使用している まだ利用していない(又は、今は利用を止めている)が、関心はある 又は のいずれでもない |

(2) びんのリユースのために地域のびん商と連携していることはありますか。(複数回答可)

住民へのリユースびん使用のPR・キャンペーンの実施
販売店を通じたリユースびんの回収
リユースびんを返却した人へのインセンティブの付与
その他()
特にない

(3) リユースびんの活きびん回収、回収方法の工夫によって、自治体の回収・処理委託費用の低減に成功している自治体がありますが、事例に関心はありますか。(複数回答可)

活きびん回収によるコスト削減に関心があり、機会があれば検討してみたい。
回収方法の工夫によるコスト削減に関心があり、機会があれば検討してみたい。
活きびん回収によるコスト削減に関心があるが、当面は回収方法の変更はない。
回収方法の工夫によるコスト削減に関心があるが、当面は回収方法の変更はない。
関心はない。

(4) びんのリユースを始めた理由や、現在抱えている課題などを自由に記入してください。

D（役所等でのリデュース・リユース取組）を選んだ方にお尋ねします。

（１）実施しているものに をつけてください（複数回答可）

庁内で開催される会議等での飲料をリユース可能な容器で提供することを定めている。

庁内で販売するお弁当や食堂ではリユース可能な容器を使っている。

庁内での食堂では割り箸は使わずに、食堂の箸を洗って繰り返し使用している。

庁内で使用する、オフィス家具・什器類、OA機器、公用車等においてリユース品を優先して調達する仕組みがある。

庁内で不要となった製品をリユース品として庁内で譲渡・再利用する仕組みがある。

庁内で不要となった製品をリユース品として庁外の方に譲渡・販売する仕組みがある。

その他（ ）

（２）（１）以外の取組であって、他の自治体よりも取組が進んでいると思われる試み、又は全国的に見てもモデル事例になりそうな取組などを行っている場合は、その概要、URL 等をお知らせ下さい。

| |
|--|
| |
|--|

（３）役所等での取組を始めた理由や現在抱えている課題など、自由に記入をお願いします。

| |
|--|
| |
|--|

Eに つけた方及びA～Dまでに つけた方にお尋ねします。

3 貴自治体独自の物質フロー(マテリアル・フロー等)を作成していますか。

ある ない

4 リデュース・リユースの今後の取組について

(1) 取組の方向性についてお答えください

取組を強化していく 現状維持
取組を中止していくものもある わからない

(2) 前問で「 取組を強化していく」と答えた方にお尋ねします。具体的にどのようなことを行っていく予定ですか。

(3)(1)で「 取組を中止していくものもある」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。

5 貴自治体におけるレジ袋・マイバッグに関する取組についてお尋ねします。

レジ袋・マイバッグに関する取組だけでなく、量り売り、マイ箸、エコ・ストア等を含む、レジ袋・マイバッグに留まらない施策・取組を行っている場合は、名称、内容、効果などを記入してください。

ただし、レジ袋・マイバッグだけを対象とする取組であっても、レジ袋の削減量等、効果が全国的に類を見ないものである場合には、その取組についてもお知らせください。

| | | | | |
|--------|------|-------|--------|-------|
| 名称 | | | | |
| 実施開始時期 | ～1年前 | 2～5年前 | 6～10年前 | 10年以前 |
| 内容 | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 定量的、定性的な効果、課題 | |
|---------------|--|

6 リデュース・リユースの取組で、他の自治体に紹介したいと思われる貴自治体の区域内で行われる取組があれば、名称、内容、効果などを記入してください。

| | |
|---------------|--|
| 名称 | |
| 実施開始時期 | ~1年前 2~5年前 6~10年前 10年以前 |
| 内容 | |
| 定量的、定性的な効果、課題 | |

7 貴自治体のリデュース・リユースに関する印刷物等がありましたらお送りください。

8 リデュース・リユースに関することで国等への政策要望がありましたら記入してください。

| |
|--|
| |
|--|

循環型社会づくりに係る取組に向けた調査にも御協力ください。

(いただいた御回答は、第3次循環型社会形成推進基本計画の取組指標の進捗状況の点検のために使用いたします。)

海外の都市と循環型社会形成に関して何らかの連携を行っているか、お尋ねします。

下記のうち該当する取組がありましたら、()に「 」を御記入の上、具体的な内容をお知らせください。

- ・平成25年度の取組状況について御回答ください。
- ・連携の方法が多数にわたる場合は、主なものを御記入ください。

・() 協定、覚書等の締結
(対象国と協定、覚書等の名称：)

・() 海外への職員の長期派遣(6ヶ月以上)
(派遣先国名、事業名、人数等の詳細：)

・() 海外への職員の短期派遣(1ヶ月以上、6ヶ月未満)
(派遣先国名、事業名、人数等の詳細：)

・() 研修生の受入れ(研修ビザを取得し、実施するものに限る。)
(派遣元国名、事業名、人数等の詳細：)

・() 国際会議の開催(特定の国と複数回(又は複数年度)開催しているものに限る。)
(相手国名、会議名称：)

・() その他(地元企業の海外展開の支援等)
(詳細：)

以上、御協力くださり、大変ありがとうございました。